

2009. 4. 1
運用スタート

柏崎日報送稿マニュアル

Ver. 1. 2
2009. 5. 8

柏崎日报社では、新聞製作システム導入に当たり、制作方法がアナログからフルデジタルへと変わります。高品質な広告掲載のためのマニュアルとして本書をご活用ください。

※新春特別号について

本マニュアルに沿った送稿はできません。従来通りをお願いします。

柏崎日报社

製作についての基本的な注意事項

製作環境

Mac OS 9.0～9.2.2

Adobe Photoshop 4.0.x～6.0.x

Adobe Illustrator 8.0.x～9.0.x

Windows XP

Adobe Photoshop CS3 (10.0.x)

Adobe Illustrator 8.0.x/9.0.x/CS3 (13.0.x)

上記の環境は、柏崎日报社で検証済みのものです（すべて日本語版）。それ以外の環境を使用する場合は、事前にご相談ください。

スクリーン

すべて AM スクリーンとなります。

フォント

送稿データは**すべてフォントをアウトライン化**してください。

データ形式

送稿データは、**EPS 型式**で送稿してください。

※その他の場合は事前に弊社までお問い合わせください。

サイズとトンボ

新聞原稿サイズ（巻末に記載）で製作し、囲み罫が原稿サイズになっている場合は、トンボを付けなくてください。囲み罫がない場合は**内トンボ（カギマーク）**を右上と左下にまたは左上と右下に**対角（一对）**に付け（四隅に付ける必要はありません）、念校に内トンボ削除の指示を書き込んでください。**内トンボの色はスミ 100%のみとし、レジストレーションや4色でそれぞれ 100%の指定はしないでください。**

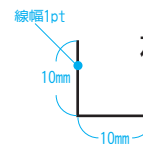


初めてデジタル送稿を行う場合は、このマニュアルに従って原稿制作し、本送稿の前にデータを柏崎日报社までお持ちください。正しく出力できるか確認いたします。ご不明な点は、弊社までお問い合わせください。

●トンボ

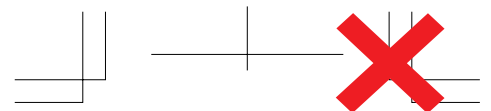


きれいな
新聞広告



柏崎日報

囲み罫がない場合は内トンボ（カギマーク）を対角（一对）につける。内トンボの色は必ずスミ 100%のみとする。



きれいな
新聞広告

柏崎日報



外トンボ（二重トンボ）は使用しない。

製作についての基本的な注意事項

色指定

色の指定はカラー・2色原稿の場合はCMYK、モノクロ原稿の場合はグレースケールのカラーモデルを使い、RGBでの指定は不可です。2色原稿の場合はC（シアン）版を色版として、シアンとスミのみを使って色指定をしてください。CMYKで指定する場合は、色を正確に表現できなくなることがありますので、4色のインキ総使用量が250%を超えないようにしてください。また、色の掛け合わせの指定をする場合は、スミ版が90%を超えないようにしてください。

オーバープリント

スミ100%のオブジェクトはオーバープリント設定に関係なくノセで出力されます。（ヌキで出力する場合は99.9%以下に設定してください）スミ以外のオーバープリントは、問題が発生しますので設定しないでください。

画像データ

レイアウトアプリケーションで配置する画像データは、原則として埋め込み配置してください。

罫線の太さ

罫線は0.3pt以上、白抜き罫線は0.5pt以上の太さにしてください。

データサイズ

送稿データは3.5インチMOディスク（128/230/640MB）またはCD-R（650/700MB）1枚以内に収まるように作成してください。

製作についての基本的な注意事項

サイズの外の不要なオブジェクトや孤立点などは問題が発生するので削除する。

対角にオブジェクトがある場合はトンボは不要。

2008年7月30日 柏崎日報掲載

原稿サイズは注意してください。

囲み罫がない場合は内トンボ（カギマーク）を対角（一対）につける。内トンボの色は必ずスミ100%のみとする。



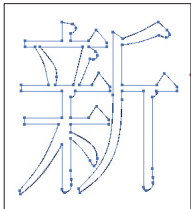
画像は、カラー・2色（CとK使用）の場合はCMYK、モノクロの場合はグレースケールを使用し、それ以外のカラーモードは使用しない。解像度は適切なものを選ぶ。画像はインキの総使用量が250%を超えないようにする。

きれいな
新聞広告



色の指定はCMYKを使用し、4色のインキの総使用量が250%を超えないようにする。

知りたい情報をいち早くお届けする
郷土の日刊紙・柏崎日報を
ぜひお役立てください。

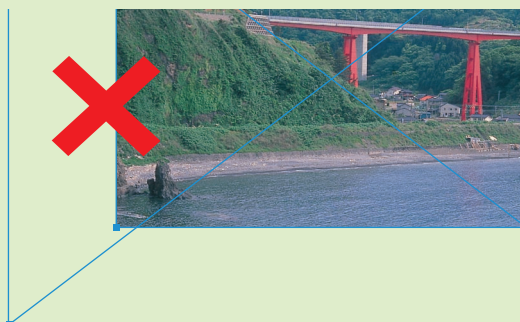


すべてのフォントを
アウトライン化する。

柏崎日報社

〒945-0066 柏崎市西本町1-6-1

画像などをマスクする場合、トリミングされた外側のオブジェクトはサイズとして認識されないが、必要以上に送稿データ容量が大きくなるので、できるだけ不要な部分は削除する。



Adobe Photoshopでの制作

画像データの作成

Adobe Photoshopは、ver6.0.x～7.0.x、CS(8.0.x)、CS2(9.0.x)、CS3(10.0.x)の使用を推奨します。

■新聞原稿に適した画像

新聞の送稿画像では、カラーモード、線数、解像度、ファイル形式などを、右の表に基づいて作成してください。

特にカラーモード、ファイル形式については、指定外の物を使用しないようご注意ください。解像度は線数の2倍を目安にしてください。また、**不要な部分はトリミングをして、必要以上に送稿データ容量が大きくなるようにしないでください。**

■カラー画像

カラー画像は必ずCMYKモードとし、RGBモードなどは使用しないでください。インキの総使用量(CMYK各インキが最も多く重なっている部分の合計値)は250%を超えないようにしてください。数値が制限を越えると、印刷の品質に影響が出ますので、**特にご注意ください。**適切な設定で作業を行うには、例えばPhotoshopのカラー設定を以下のようにしてください。

- 「カラー設定」を開き、「詳細設定モード」にチェックを入れます。
- 「作業スペース」の「CMYK」で「カスタムCMYK」を選びます。
- 左図を参照し、「色分解の種類」は「UCR」にチェックを入れ、「インキの総使用量の制限」は「250%」とします。

この設定にしておけば、RGBからCMYKに変換した場合、カラー画像のインキ総使用量は250%を超えることはありません。

■ロゴの制作

ロゴなどを使用する場合は、できるだけIllustratorでトレースしたアウトラインデータを使用してください。モノクロ使用の場合は、モノクロ2階調画像も使用できます。その場合は、使用原寸での解像度を1200dpiに設定してください。既定値以上の高解像度で作成された画像データでは、細い線(1ドットの幅)などが正常に印刷されないのをご注意ください。なお、モノクロ2階調画像には、スクリーンは反映されません。

●新聞原稿に適した画像の設定数値

カラー、2色画像(CとKを使用)

カラーモード CMYKモード

解像度 170dpi以上

ファイル形式 EPS

モノクロ画像

カラーモード グレースケールモード

解像度 170dpi以上

ファイル形式 EPS

モノクロ2階調画像の解像度(原寸)

すべての広告 1200dpi

●スクリーン設定

柏崎日報社のスクリーン設定

AMスクリーン

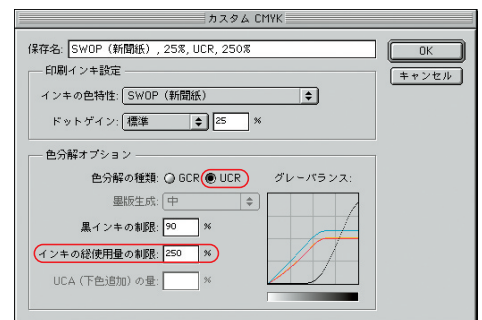
スクリーン線数…85線

スクリーン角度

C…15° M…75° Y…0° K…45°

網点形状…円

●カスタムCMYK設定の例



正確な色を表現するために

新聞広告の送稿用画像は、正確な色を再現するために補正が必要となる場合があります。それらの画像処理には専門的技術が必要となります。新聞広告に関するノウハウを持った製版会社を利用することにより、そうした負担を軽減し、効率的で確かな原稿づくりが可能となります。より高い品質を得るために、ポジヤプリント、イラスト原画などの取り込みや、難易度の高い画像処理については、製版会社に依頼することをおすすめします。

Adobe Photoshopでの制作

画像データの保存

■保存時のオプション

保存する際には、レイヤーを統合し、不要なアルファチャンネルは削除します。適切なカラーモードに変換し、**ファイル形式はEPSまたはTIFF**を選んでください。TIFF形式を使用できるのはモノクロ2階調（原寸使用）のみです。

EPS形式

「エンコーディング」については、Illustrator ver. 8～10に配置する場合は「バイナリ」か「JPEG- 最高画質（低圧縮率）」、Illustrator CS～CS3に配置する場合は「ASCII85」「ASCII」「JPEG- 最高画質（低圧縮率）」のいずれかを選ぶ。オプションのチェックは問題が発生することがあるので外す。

※ JPEG エンコーディングは非可逆圧縮であり、圧縮率を高く設定すると特に品質が劣化することがあるので注意する。

TIFF形式

「画像圧縮」は「なし」、ピクセルの順序は「インターリーブ」（CS2/CS3）を選ぶ。その他のオプションはすべてチェックを外す。

■プロファイルについて

送稿用の画像データについては、プロファイルが埋め込まれていると色のトラブルが起こります。プロファイルは埋め込まずに保存してください。

また、外部に依頼したポジなどのスキヤニングデータを扱う場合も、プロファイルが埋め込まれていないかを確認し、埋め込まれている場合は、プロファイルを埋め込まない設定で保存し直してください。

プロファイルを埋め込まずに保存する方法

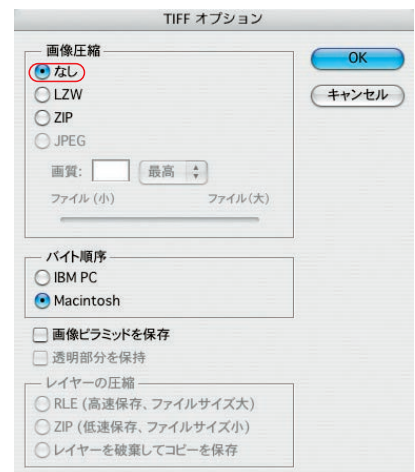
保存時のダイアログの「カラー」の「カラープロファイルの埋め込み：XXX」にチェックが入っていないことを確認する。チェックが入っている場合は、必ず外して保存する。

●保存時のオプション（CS）



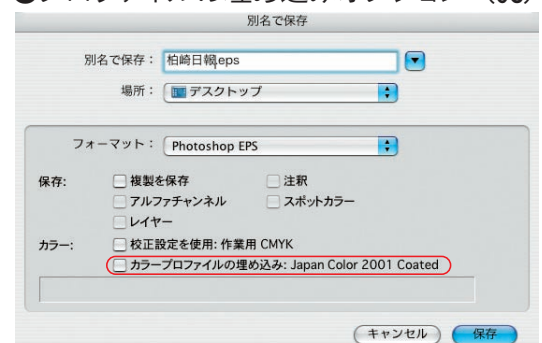
EPS形式

Illustrator CS～CS3に配置する場合は、エンコーディングで「バイナリ」は選択しない。



TIFF形式

●プロファイルの埋め込みオプション（CS）



Adobe Illustratorでの制作

Adobe Illustrator は、ver. 8.0.x ~ 10.0.x、CS (11.0.x)、CS2 (12.0.x)、CS3 (13.0.x) の使用を推奨します。

■サイズ

原稿サイズについては巻末の「広告サイズ表」をご参照いただき、サイズの外に不要なオブジェクトがないように注意してください。配置画像などはできるだけ不要な部分をトリミングし、サイズからはみ出す場合はマスクを使用してください。

囲み罫はパスの線幅で指定するのではなく、パスのアウトラインを作成して使用してください。

■フォント

使用しているすべてのフォントは必ず、アウトライン化してください。

■書類の設定

ver. 9/10 の場合は、書類のカラーモードが選択できます。必ず「CMYK カラー」を使用してください。

また、ver. 9/10 の場合は [書類設定] → [プリントデータの書き出し]、ver. 8 の場合は [書類設定] で [プリンタの初期値を使用する] に必ずチェックを入れてください。ver. 9/10 の場合、[書類設定] → [プリントデータの書き出し] でパスの出力解像度を 800dpi にします。オプションの項目でラスタライズ解像度を 600dpi、グラデーションメッシュを 200dpi に設定してください。[書類設定] → [透明] でプリント・データの書き出し画質 / 速度のバーを高画質 / 低速（一番右端）にしてください。Illustrator ver. 9/10 ではここでの設定をきっちり行わないと問題が発生する場合がありますので必ず設定してください。（バージョンにより表記の仕方が違います）

■画像データの配置

配置するデータは、原則埋め込み配置してください。

■特殊な機能

アピアランス属性の「透明」と「効果」（ver. 9 以降）、「SVG 効果」（ver. 10 以降）については、問題が発生することがありますので、使用しないでください。

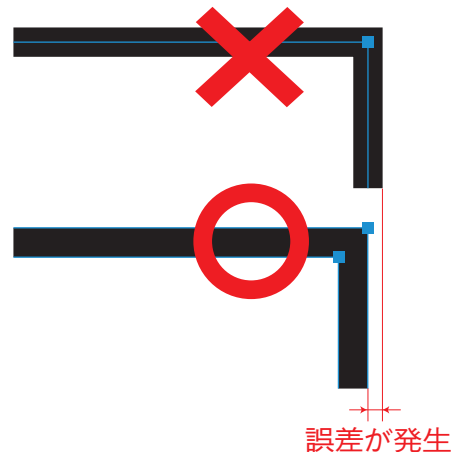
■CS 以降の使用について

CS 以降を使用する場合は、以前のバージョンとの互換性に注意してください。送稿用データは、以前のバージョンで作成したデータを流用せず、新規に作成するようにしてください。

CS 以降に使用する EPS 形式の配置画像は、エンコーディングを「ASCII85」「ASCII」「JPEG- 最高画質（低圧縮率）」のいずれかに設定してください。

●囲み罫の作成

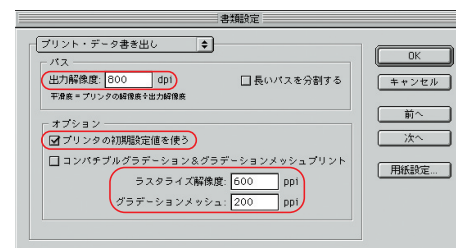
囲み罫はアウトラインを作成したパスの外側が原稿サイズになるようにする。



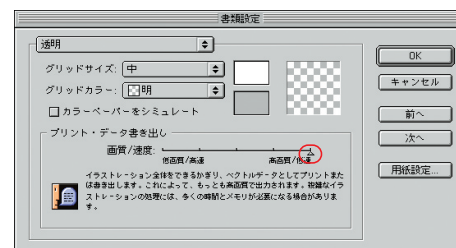
●書類の設定



ver. 9 以降では、カラーモードは「CMYK カラー」を使用する。



ver. 8 ~ 10 の場合は、書類設定で「プリンタの初期値を使用する」に必ずチェックを入れる。



ver. 9/10 の場合は、プリント・データの書き出し画質 / 速度のバーを高画質 / 低速（一番右端）にしてください。



Illustrator で EPS 形式の画像を使用する場合は、バージョンによってエンコーディングの設定が異なるので注意が必要です。過去の画像データを CS 以降で利用する場合は、特に注意してください。

Adobe Illustratorでの制作

出力トラブルの回避

■罫線について

罫線の指示が「塗り」だけで設定されていますとモニターやプリントでは、はっきり表示されますが、印刷では正しく印刷されません。罫線を設定するときは必ず**線に色を付け線幅を0.3pt以上**で設定してください。白抜き罫線は**線幅を0.5pt以上**で設定してください。

■グラデーションの注意点

グラデーションを使用する場合、以下の点に注意してください。異なる色が割り当てられている複数の分岐点が、**同じ位置でぴったりと重なっている場合は、出力エラーとなる場合があります**。分岐点と中間点が同じ位置にある場合は修正してください。ver. 5.5/8では、必ず「0%」と「100%」の両方の位置に分岐点を設けてください。どちらかの位置に分岐点がない場合は、問題が発生します。孤立点にグラデーション指定があると出力エラーとなります。幅をもたない線（パス）にグラデーション指定があると出力エラーとなります。

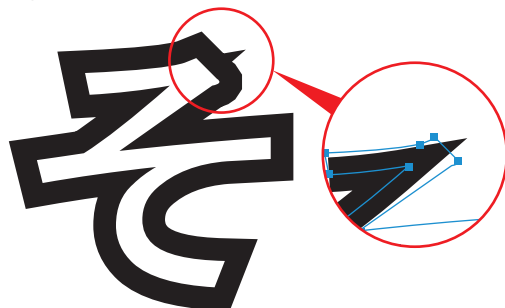
■ふち取り文字の注意点

ふち取り文字を使用する場合、鋭角な角の部分に不要な角状のオブジェクトが印刷されてしまうことがあります。これは、文字に線の指定をした際に、内側の角が文字の外側からはみ出してしまふことにより発生します。特に細いフォントや、線幅の数値が大きい指定をした場合は、発生しやすくなります。この症状は、モニター画面や印刷の解像度の違いから、モニター画面上やゲラでは確認できず、印刷時のみに発生する場合がありますので注意が必要です。回避するために、できるだけ以下の方法でデータを作成してください。

●線の指定をした文字をアウトライン化し、Illustratorの[オブジェクト] → [パス] → [パスのアウトライン]でパスのアウトラインを作成し、問題箇所があれば修正する。

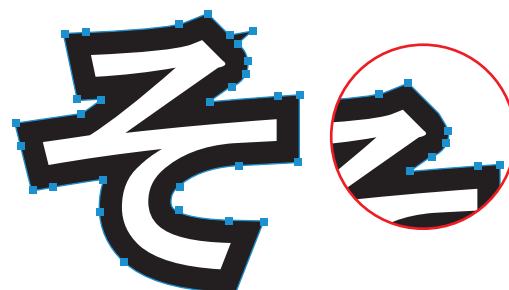
●ふち取り文字の注意点

文字の内側に指定した線の角が文字の外側から角状にはみ出すことがある。

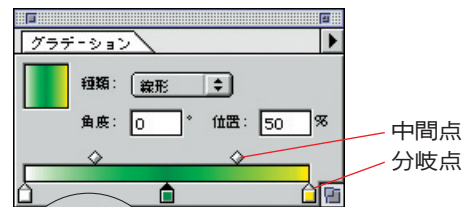


回避例

パスのアウトラインを作成し、問題箇所を修正することで、確実に回避できる。

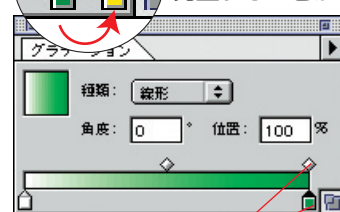


●グラデーションの注意点



中間点
分岐点

複数の分岐点がぴったりと重なっている場合、問題が発生することがある。



分岐点と中間点がある場合は確認が必要。



「0%」と「100%」の両方の位置に分岐点がないと問題が発生する場合があります。



「0%」と「100%」の両方の位置に分岐点があるか確認する。

Adobe Illustratorでの制作

レイアウトデータの保存

■保存前の確認

送稿用データを保存する前に、以下の点を確認してください。例えば主な項目については「ドキュメント情報」(CS以降)または「書類情報」(~CS)で確認することができます。

- 「カラースペース」が「CMYK」になっているかを確認する。(ver. 9以降の場合)
- 「不透明マスク」「透明グループ」「透明オブジェクト」がないことを確認する。
- フォントがすべてアウトライン化されているかを確認する。
- 色の指定で、インキの総使用量が250%を超えていないかを確認する。
- ver. 10の場合は、保存前に[書類設定] → [透明]の設定で「可能な場合オーバープリントを保持」にチェックを入れる。
- 孤立点や不要なオブジェクト、ガイドは削除する。
- レイヤーは1つにまとめておく。

■保存形式

送稿用のレイアウトデータはEPS形式で保存してください。保存の際の設定は左図を参照し、以下の点を必ず守ってください。

- 「互換性」は作成したバージョンを指定する。
- プレビュー形式は「TIFF (8-bit カラー)」または「8-bit (256色) IBMPC」を選択する。
- 「オーバープリント」は「保持」を選択する。(CS以降)
- 「CMYK PostScriptをRGBファイルに含む」「コンパクトブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」はチェックを外す。(CS以降)
- 「CMYKポストスクリプト」チェックを入れる。(~ver. 10)
- 「Adobe PostScript」または「ポストスクリプト」は「レベル2」または「3」を選択する。

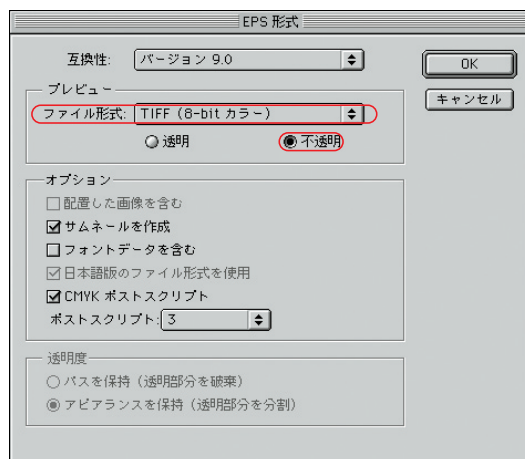
●オーバープリント設定 (ver. 10のみ)



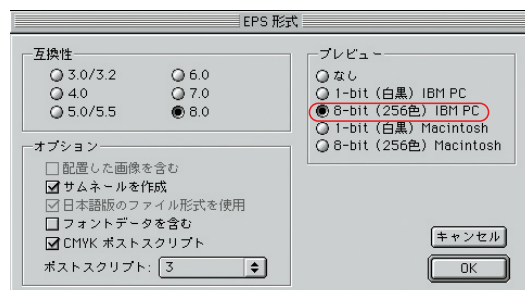
●EPS形式オプション



CS ~ CS3



ver. 9/10



ver. 8

本送稿の手順

柏崎日報の広告原稿を送稿する方法には、「メディア送稿」と「オンライン送稿」があります。

本送稿に必要なもの

	EPSファイル	ゲラ (念校)	送稿データ確認書
メディア送稿 (MO/CD-R)	○	○	○
オンライン送稿	○	○	○

※ゲラ (念校) はPostScriptプリンタの、**原寸大の最終出力紙** (1枚) を添付してください。

※送稿データ確認書は巻末についております。コピーしてご記入ください。

メディア送稿

メディアで新聞広告を送稿する場合、以下のものをご用意してください。使用できるメディアは**3.5インチMOディスク**または**CD-R**です。詳しくは右記の表をご参照ください。メディアには**レイアウトデータのみ保存**してください。配置した画像データなどは保存しないようにご注意ください。また、送稿データは**1原稿につき1枚のディスク**に入れ、**総容量はディスク1枚に収まるように**してください。

送稿データ確認書

巻末にある送稿データ確認書に記入して、EPSファイル、ゲラ (念校) とともに提出してください。

本送稿日

カラー・2色原稿……掲載日4日前 午前中必着

モノクロ原稿……掲載日2日前 午前中必着

※土・日・祝日は除く

オンライン送稿

柏崎日報社へのオンライン送稿は弊社までお問い合わせください。

●送稿用のメディアに保存するデータ

レイアウトデータのファイル名は、広告名を分かりやすく付け、また**適切な拡張子を付加**する。ファイル名は拡張子も含め、**最大で半角31文字 (全角はその半分) まで**。
¥ / , ; : * ? " < > | 等の記号は使用不可。

配置した画像データは不要。レイアウトデータのみを圧縮せずに保存し、送稿する。EPS型式のデータのみ保存する。(配置画像などは不要)

●使用できるメディア

3.5インチMOディスク

容量	128/230/640BM
フォーマット	Mac OS拡張 (HFS+) WindowsXPで処理した物

CD-R

容量	650/700MB
フォーマット	ISO 9660/UDF

ライティングアプリケーションを使用した特殊なフォーマットの場合、問題が発生する場合があります。ご注意ください。

広告サイズ表

カラー、2色、モノクロともに原稿サイズは下記の表を適用してください。下記に表記のない小型広告、変形広告、集合広告、特集広告などの特殊サイズの広告については弊社までお問い合わせください。

■広告サイズ

天 地

1段	31 mm
2段	65 mm
3段	99 mm
4段	133 mm
5段	167 mm
6段	201 mm
7段	235 mm
15段	509 mm

左 右

全段	368 mm
半段	182 mm

その他は指定のサイズ

柏崎日報掲載広告 送稿データ確認書 コピーしてご記入ください。

《ファイル名》
《広告主》
《掲載日》

《原稿サイズ》	段 ×	mm	(天地	mm ×左右	mm)
《色種別》	<input type="checkbox"/> モノクロ	<input type="checkbox"/> 2色	<input type="checkbox"/> カラー		

《広告会社 送稿担当者》	連絡先
《制作担当者》	連絡先

《チェック事項》		チェック欄	
完成した送稿データは、送稿の前に必ず右記のチェックシートに従い、すべての項目について確認を行ってください。	画 像	アプリケーションはバージョンも含め、指定の物で制作しているか。	
		インキの総使用量が250%を超えていないか。	
		画像データのカラーモードは、モノクロの場合グレースケールまたはモノクロ2階調に、カラー・2色の場合はCMYKカラーに指定されているか。RGBで指定していないか。	
		画像データにプロファイルが埋め込まれていないか。	
		画像の解像度は適切か。	
	レイ ア ウ ト	原稿サイズは合っているか。はみ出ている部分はないか。	
		レイアウトデータのカラーモデルは、カラー・2色原稿の場合はCMYKカラーに、モノクロ原稿の場合はグレースケールに指定されているか。RGBで指定していないか。	
		フォントはすべてアウトライン化しているか。	
		仕上がり寸法の外に不要なオブジェクトが残っていないか、また2重トンボなど入っていないか。	
		孤立点など不要なデータは削除しているか。	
		Illustratorで罫線を引いた場合、線の指定は正しくできているか。	
		また、罫線で囲ってある原稿の場合、線幅がはみ出てサイズが大きくなっていないか。	
		最終のレイアウトデータは、制作に使用したアプリケーションのバージョンのEPS形式でかつ、プレビュー形式は「TIFF (8-bitカラー)」または「8-bit (256色) BMPC」を選択して保存してあるか。	
	フ ァ イ ル 管 理 等	Illustratorで画像を配置している場合は、埋め込んであるか。	
		送稿データは一旦ハードディスクに保存し、そのコピーをメディアに保存したか。	
		送稿メディア (MOディスク、CD-R) のフォーマットは適切か。	
		送稿データに余分なデータが入っていないか。	
		ウィルスチェックは行ったか。	
	ファイル名は適切な拡張子を付加し、拡張子も含め、最大で半角31文字 (全角はその半分) までか。 (¥ / , ; : * ? " < > 等の記号は使用不可。)		
	ゲラ (念校) を添付したか。(PostScriptプリンタの、原寸大の最終出力紙)		

《備考》
